

【EWE 先輩からのメッセージ】

## 鉄鋼業における 研究開発の魅力

【現在の業務内容について】

鉄鋼業は多種多様な設備で成り立っている“装置産業”であるが故に、各設備の持つ性能が鉄鋼製品の品質や製造能力を大きく左右することになります。私は日々の操業によって得られる多種多様なデータ分析・機械学習モデル構築の研究開発に従事し、開発技術を通じた品質や製造能力の先進化に取り組んでいます。

【日本製鉄を選んだ理由】

私が日本製鉄を選んだ理由は、大きく分けて 3 つあります。

在学中から私は、自分の努力が社会に還元されることを重視していました。共同研究などに積極的に取り組み、実際に社会に役立つ形で成果を出すことにやりがいを感じていました。就職活動の際には、物理的に存在しかつ日本の強みであるモノづくりの分野で貢献したいと考え、製造業を中心に企業を選びました。

次に、日本製鉄が業界 No. 1 であることです。No. 1 であることには理由があり、その地位には期待と責任が伴います。実際、日本製鉄は年間 700 億円規模の研究開発費を投じて、カーボンニュートラルの実現に向けた二酸化炭素排出量削減技術等の開発に取り組んでいます。このような挑戦的な環境で働けることに魅力を感じました。

最後に、学生時代に培ったデータ解析の技術や経験を活かせる点です。日本製鉄では、自社の設備でデータを取得し、その解析結果を自社の生産

日本製鉄株式会社  
プロセス研究所  
計測・制御研究部  
關 翼人



2018 年 3 月修了

電気・情報生命専攻

村田研究室（2020 年 4 月より再度在籍中）

メール：seki.z8m.yokuto@jp.nipponsteel.com

技術に反映させることができます。これにより、データ分析の技術だけでなく、データの取得方法や活用方法にも自分の工夫を活かすことができると考えました。実際に入社してから、その期待を裏切られることなく、多種多様なプロセス・データのもと充実した業務に取り組んでいます。

【後輩へのメッセージ】

これからの人生を大きく左右する一歩を踏み出すにあたり、現在の“学生”という視野だけに囚われず、広い視野を持って取り組んでください。先輩だけでなく、親族や OB、さらには各業界のプロフェッショナルとも積極的に交流し、さまざまな視点からアドバイスを受けてください。

個人の思いとして、熱意を持って働ける環境を見つけることを重視してほしいです。学生時代の数年間とは異なり、社会人としてのキャリアは 30 年以上続くことが一般的です。情熱を持てる仕事や環境でなければ、心理的な負担や成長の妨げになることもあります。環境の中でも特に「人」に注目し、自分に合った職場を見つけてください。

弊社における電気系社員は研究開発以外の領域でも活躍します。ぜひ、弊社の採用フローの一環として行われる工場見学などに参加いただき、社員との交流を深めていただければ幸いです。